

2020 年度 事業報告

事業名 **海から始まる物語 IN 2020**

題記事業名にて 2020 年度の活動を計画していましたが、
新型コロナウイルスの流行があり、感染防止の為に止む無く
全ての活動を中止としました。

目 次

1. NPO 法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織
2. 事業名「海から始まる物語 IN 2020」
活動計画
活動その① JMU 津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
活動その② JMU 津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
活動その③ 伊勢湾フェリーに乗船し、伊勢湾海上交通センターの見学
活動その④ もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話
3. その他の活動
4. 2020 年度 収支報告
5. 2021 年度の活動計画
6. おわりに

1. NPO 法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織

(目的) 定款で以下のように定めています。

第3条 この法人は、主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

(事業) 定款で以下のように定めています。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。
特定非営利活動に係る事業

- ① 故郷の海を愛する心を育てる事業
- ② 海や船に親しむ活動の推進事業
- ③ 世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業
- ④ 郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらう事業
- ⑤ その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパンプログを参照ください。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442#basicinfo>

(組織) (役員名簿)

役職名称	氏名	常勤/非常勤	職業	報酬の有無
理事(会長)	川口 心也	非常勤	無職	無
理事(副会長)	三井 建次	非常勤	無職	無
理事(副会長)	江崎 隆夫	非常勤	会社社長	無
理事(会計)	畑 辰幸	非常勤	水先案内人	無
理事	古川 昭一	非常勤	無職	無
理事	水野 逸夫	非常勤	無職	無
理事	永井 功	非常勤	無職	無
理事	溝井 昇	非常勤	無職	無
理事	山口 伸輔	非常勤	会社社長	無
理事	木下 勝	非常勤	無職	無
理事	濱地 安美	非常勤	無職	無
理事	西山 明	非常勤	無職	無
監事	武部 二三男	非常勤	無職	無

(会員数) 2021年3月時点での正会員数は個人94名と3団体。賛助会員数は13名です。

2. 事業名「海から始まる物語 IN 2020」

活動計画 当初計画は以下の通り

事業目的：主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し、『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もって子供たちの健全な育成に寄与することを目的とする。

事業目標：地域の小中学生が活動を通して世界につながる船や海を体験し、海と人との共生をめざし、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する知識・気持ちを持つようになる。

事業計画：年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・三重県教育委員会・三重県中南勢地区市町教育委員会等の後援を得て参加者募集を行う。
国立鳥羽商船高等専門学校の練習船等学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施。日本船主協会、全日本海員組合、日本中小型造船工業会、山縣記念財団、日本海事広報協会等の助成を得て事業を実施。

第1回イベント JMU 津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海 その①

津市と鳥羽市で集合し、JMU 津造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。
又、鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。
船上では船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク等を体験する。

募集人員 90名＋ボランティア。（活動に際しての協力：鳥羽商船高専並びに JMU 津造船所）

場所：津市及び伊勢湾。 時期：7月下旬

第2回イベント JMU 津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海 その②

津市で集合し、2グループに分かれてその①と同様の活動する。

募集人員 90名＋ボランティア。（活動に際しての協力：鳥羽商船高専並びに JMU 津造船所）

場所：津市及び伊勢湾。 時期：8月初旬

第3回イベント 伊勢湾フェリーに乗船し、伊勢湾海上交通センターの見学

鳥羽市で集合し、伊勢湾フェリーに乗船し、操舵室を見学し、伊良湖に向かいます。

伊良湖では伊勢湾海上交通センターで伊良湖水道を通航する船を管制する様子を見学し、

渥美郷土資料館では昔から伊良湖水道を渡って伊勢志摩と交流があった様子を学びます。

募集人員 90名＋ボランティア。（活動に際しての協力：伊勢湾フェリー、伊勢湾海上交通センター）

場所：鳥羽～伊良湖 渥美半島 時期：8月下旬

第4回イベント もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、模擬操船体験や大型機関の発停を体験する。

他にコンピューター・ロボットなどの講演を聞き・ロボットやアプリの体験をする。

募集人員 50名＋ボランティア。（活動に際しての協力：鳥羽商船高専）

場所：鳥羽市 国立鳥羽商船高等専門学校校内 時期：12月中旬

募集：募集対象を主として三重県の中南勢地区の小学生5,6年生と中学1,2年生とする。

対象学校毎にポスターを、対象の子供達にリーフレットを用意する。

又、各市町の広報紙に募集広告を掲載依頼する。

参加費：活動その①②③については¥1000、その④は無料とする。

2020年度の活動中止

新型コロナウイルスによる人への感染が2019年12月に中国で始まり、日本でも2020年1月には感染者が見つかり、その後、多くの感染者が発生し、多くの方が亡くなっています。

感染防止対策として三密を避ける事、マスクをする事、手洗い励行などが求められ、更には各学校などの休校や職場でのリモートワーク推奨などとなりました。

2020年度の活動は子供たちが夏休みに入る7月8月に計画をしていましたが、2020年4月の時点で、コロナ感染がその頃迄に収束しそうにないと思われたので、予定していた全ての活動を中止としました。世間では新型コロナの第一波、第二波を経験し、その感染防止策が具体的に取られ、自粛していた色々の活動もそろそろと再開しました。私達の活動に毎年協力して頂いていた関係先のコロナ対応については

- ・津の造船所は2020年10月に参加者数を制限し、バス車中だけの造船所紹介を再開したそうです。
- ・鳥羽商船高専の練習船による体験航海は2020年には実施されませんでした。
練習船での授業を行う場合は乗船者数の制限や空気清浄機の設置等の対応をとっています。
- ・バス会社やフェリー運航会社は座席の抗菌や抗ウイルス加工を行い、定期的に消毒をし、外気導入システムで換気に努め、営業しているようです。

3.その他の活動

アサギマダラを呼ぶプロジェクト

毎年10月頃に蝶のアサギマダラが日本の高地から遠く南の島に向けて2000キロも飛んでゆきます。あの小さいからだでひらひらと、どこにそんな力があるのでしょうか。ロマンを感じます。その旅の途中でフジバカマやアザミの蜜を吸って体力をつけて、再び南に向かって飛んでゆきます。三重県では鳥羽の神島や伊勢市・松阪市・津市・熊野市などでアサギマダラの飛来が見られます。私達はアサギマダラの食草であるフジバカマを育て花を咲かせて、アサギマダラを呼ぼうと考えました。考えに賛同の会員が鳥羽商船高専の庭や伊勢市や鳥羽市の自宅の庭にフジバカマを育てています。アサギマダラの飛来は多い所で20頭を超え、鳥羽商船高専の庭や、その他会員の庭にも現れました。



2020 ジュニアシッピングジャーナリスト賞参加者募集に協力

日本海事広報協会が毎年行っているジュニアシッピングジャーナリスト賞の参加者募集に協力しました。私たちのブログに募集記事を掲載しました。「海の新大募集」で「船」や「港」にかかわること全般。応募対象は小中学生でした。

4. 収支報告

収入について、受取会費が¥63000となりました。2020年度では活動を全て中止したので、その影響だと考えています。寄付金は¥454000頂きました。受取助成金について、従来助成して頂いていた団体から同様の協力が頂けたのですが、活動中止としたので助成の辞退や助成金を返金しました。鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部に前年度赤字補填として¥50000頂きました。結果、収入合計は¥567004となりました。

支出について、業務委託費は¥50000支払いました。その他経費として合計で¥80664支払いました。寄付集めに使用しているカンパ決済サービスへの手数料として合計で約¥50000支払っています。残念ながら決済サービスを用いての寄付は全くありませんでした。結果、支出合計¥130664となりました。

当期正味収支は¥436340、前年繰越は-¥71063でしたので、次期繰越¥365277となります。

令和2(2020)年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) 特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費 (個人)	61,000	
正会員受取会費 (団体)	2,000	63,000
2 事業収益		
第1回事業収益	0	
第2回事業収益	0	
第3回事業収益	0	
第4回事業収益	0	0
3 受取寄付金		
受取寄付金 (個人)	424,000	
受取寄付金 (法人・団体)	30,000	454,000
4 受取助成金等		
受取民間助成金 (日本中小型造船工業会)	0	
受取民間助成金 (日本船主協会)	0	
受取民間助成金 (全日本海員組合)	0	
受取民間奨励金 (山縣記念財団)	0	
受取民間助成金 (日本海事広報協会)	0	
受取民間助成金 (鳥羽商船同窓会)	0	
受取民間助成金 (鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部)	50,000	50,000
5 その他収益		
受取利息	4	
雑収益	0	4
経常収益合計		567,004
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費	0	0
(2) その他の経費		
イベント事業費	0	
業務委託費	50,000	
諸謝金 (講師・看護師・学生)	0	
募集経費	0	
印刷製本	0	
旅費交通費	0	
保険料	0	
雑費	0	
事業費計		50,000
2 管理費		
(1) 人件費	0	0
(2) その他の経費		
租税公課	0	
交際費	0	
旅費交通費	0	
通信費・運搬費	17,610	
消耗品	1,544	
支払手数料	11,350	
雑費	50,160	
その他経費合計		80,664
経常費用合計		130,664
当期正味財産増減額		436,340
前期繰越正味財産額		-71,063
次期繰越正味財産額		365,277

令和2(2020)年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

科目	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
現金預金	656,277	
未収金		
流動資産合計		656,277
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	0	
有形固定資産計		0
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	0	
無形固定資産計		0
(3) その他の資産		
その他の資産合計		0
固定資産合計		0
資産合計		656,277
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
前受会費	69,000	
前受寄付金	222,000	
流動負債合計		291,000
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		291,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		(71,063)
当期正味財産増減額		436,340
正味財産合計		365,277
負債及び正味財産合計		656,277

広くご寄付をお願いしました。ご寄付頂いた方々は以下の通りです。ありがとうございました。

「久居地区」明るい社会づくりの会	山田 孝生	30000	山田 猛敏	5000	中西 哲也	2000	
菅沼 延之	100000	長谷川 雅昭	10000	中村 雅則	5000	井上 民規	2000
山口秀テクノマリン	50000	小木曾 順秀	10000	石原 健一	5000	上杉 幸三	2000
畑内 康孝	30000	増島 忠弘	9000	飯島 寿	5000	竹内 大助	2000
山下 文徳	20000	畑 辰幸	9000	佐藤 隆史	4000	森田 竹治	2000
小甲 和己	20000	鈴木 晴敏	9000	丹羽 幸彦	4000	奥村 要治	2000
古川 昭	20000	小林 司	9000	宮脇 幸次	4000	永井 功	1000
三村 徳三	20000	漆山 先輩	9000	大西 彰夫	4000	田口 陽一	1000
川口 心也	16000	服部 光幸	5000	匿名	4000	村田 勝久	1000
井上 道彦	15000	藤田 稔彦	5000	長谷川 秀文	3000	合計	454000

5. 2021年度の活動計画

2021年度の活動は「海から始まる物語 IN 2021」と題し、以下の活動を計画しています。
故郷の海を愛する会の活動開始以来13年目の活動となります。

新型コロナについて、今後の見通しは立ちませんが、コロナ感染防止対策を十分に行い活動を実施しようと考えています。

第1回イベント JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

津市と鳥羽市で集合し、JMU津造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。
又、鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。
船上では船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク等を体験する。

募集人員 40名＋ボランティア。（活動に際しての協力：鳥羽商船高専並びにJMU津造船所）

場所：津市及び鳥羽市と伊勢湾。 時期：8月上旬

第2回イベント 伊勢湾フェリーに乗船し、伊良湖で渥美半島の自然観察をする

鳥羽市で集合し、伊勢湾フェリーに乗船し伊良湖に向かいます。

伊良湖では渥美半島の自然観察をする。渥美郷土資料館にバスで向かい、昔から伊良湖水道を渡って伊勢志摩と交流があった様子を学びます。

募集人員 40名＋ボランティア。（活動に際しての協力：伊勢湾フェリー）

場所：鳥羽市～伊良湖 渥美半島 時期：8月下旬

第3回イベント 潮騒の神島にわたり、伊良湖水道の見学と、神島の自然観察をする

鳥羽市で集合し、鳥羽市営定期船で神島に向かい、神島の自然観察をする。

神島の灯台から伊良湖水道を通航する大型船を眺める。

神島を歩いて一周するが、その際に、渡りをする蝶、アサギマダラを探す。

募集人員 40名＋ボランティア。（活動に際しての協力：鳥羽海上保安部）

場所：鳥羽市 神島 時期：10月中旬

第4回イベント 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、模擬操船体験や大型機関の発停を体験する。

他にコンピューター・ロボットなどの講演を聞き・ロボットやアプリの体験をする。

募集人員 30名＋ボランティア。（活動に際しての協力：鳥羽商船高専）

場所：鳥羽市 国立鳥羽商船高等専門学校校内 時期：12月中旬

年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・近隣市町教育委員会（三重県の中南勢地区の市・町）等の後援を得て参加者募集を行う。

国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会等の後援・協力を得て事業を実施していく。

助成に関しては、鳥羽商船同窓会に加え、日本中小型造船工業会、日本船主協会、全日本海員組合、山縣記念財団、日本海事広報協会等からの助成を期待しています。

2021年度の活動実施に際しての注意事項

新型コロナの収束の見通しは立っていませんが、2月に医療従事者へのワクチン接種が始まり、2021年の4月には高齢者や基礎疾患のある人々へのワクチン接種が始まるようです。6月にはそれらの方々へのワクチンの配布が完了すると期待されています。私達が活動を始める8月初めになれば主たるスタッフ（高齢者）へのワクチン接種が終わりその効果が期待できる状況になると考えています。募集対象である小中学生は今の処、ワクチン接種の対象になっていません。小中学生への感染を避けつつ、三重県の指針に沿い、特に以下の点に配慮して活動を実施しようと考えています。

共通事項

- ・すべての機会ですべての機会を避け、対人距離を確保する。
各場所への入退出時には整然と移動し、人と人との十分な距離を確保する。
- ・感染防止の為に参加者の制限をする。バスに乗車の際は予め座席を指定し、定員の半数以下とする。
- ・各場所に手指の消毒設備を用意する。
- ・マスクを着用する。夏場で気温・湿度が高い中では熱中症に十分注意する。
- ・施設の換気を行う。又、施設の消毒を行う。
- ・食事の際は座席の間隔をあけ、対面して食事することの無いように席を用意する。
- ・参加者のリストを用意し、受付時に体温を確認し、体調異常がないことを確認する。
- ・他の人と共用する物品や手が頻繁に触れる場所を最低限にする。又、その場所を適宜消毒する。
- ・ごみは参加者が各自で持ち帰る。
- ・食事の後始末は各自で行い、容器などはビニール袋に入れ密閉し、縛る。

6. おわりに

2020年度は新型コロナの流行により、感染防止の為に、全ての活動中止を余儀なくされました。子供たちに海や船をもっと知ってもらい、親しんでもらおうと活動しているのですが、感染拡大で多くの人が亡くなっていることを考えると、中止したことはやむを得なかったことと考えています。2021年に入っても多くの感染者が発生し、又、より感染力の強い変異ウイルスも現れて、全く予断を許しません。小中学生のワクチン接種は今の処、予定はないようですが、高齢者と基礎疾患のある人には4月から接種が開始され、6月中にはワクチンの配布が完了すると言われています。一度目の接種から3週間後に二度目の接種をすると、その後1週間で抗体ができるそうです。であれば、7月中には私たちの活動の主たるスタッフである高齢者に抗体ができると考えています。新型コロナの状況に注意しつつ、活動の際には十分な対策を取って、安心安全に留意して実施します。

会員募集中

故郷の海を愛する会は子供達にもっと世界につながる船や海を知ってもらおうと活動を続け12年となりました。今後とも継続して活動を行いたいのので、私たちの活動に賛同し、活動に協力して頂ける方を募集中です。正会員は年会費¥1000です。ご寄付も受け付けています。

会費など振込先： ゆうちょ銀行 鳥羽支店

当座： 00830-9-183524

名義： 口座名称（漢字）特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会
口座名称（カナ）トクヒ）フルサトノウミヲアイスルカイ

イベントの参加者募集や活動の報告などの情報は以下の[ブログ](#)で見てください。

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

活動実績・収支報告・組織運営などの[団体情報](#)は以下をご覧ください。

<http://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442>

ブログ

団体情報

NPO 法人 故郷の海を愛する会



三重県鳥羽市鳥羽三丁目 31 番 37 号

TEL : 0599-25-8045 FAX : 0599-25-8128

Email : umiwoaisurukai@yahoo.co.jp